



ご使用の前に、本書を最後までよくお読みの上、正しくお使いください。また、本書が必要になったとき、すぐに利用できるように保管してください。安全に正しくお使いいただくために、操作の前には必ず『安全上のご注意』をお読みください。指定のない場合、「管理者」とは RC Gate の管理者を指します。

『セットアップガイド』のマークについて

本書で使われているマークには次のような意味があります。

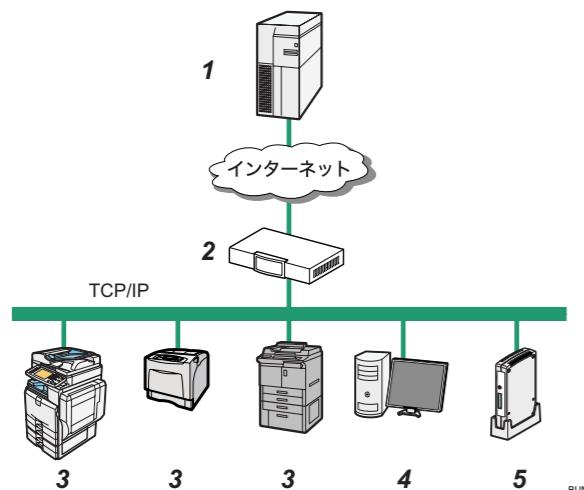
⚠️ 警告

この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。

⚠️ 注意

この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

システム概要



1. RS センターシステム
各種サービスのための情報を集約するセンターです。

2. プロキシサーバーおよびファイアウォール

プロキシサーバーやファイアウォールを使用できます。プロキシサーバーを使用する場合、「ベーシック認証」、「ダイジェスト認証」および「Windows統合認証」(NTLMv2認証だけ)を使用した環境に対応しています。

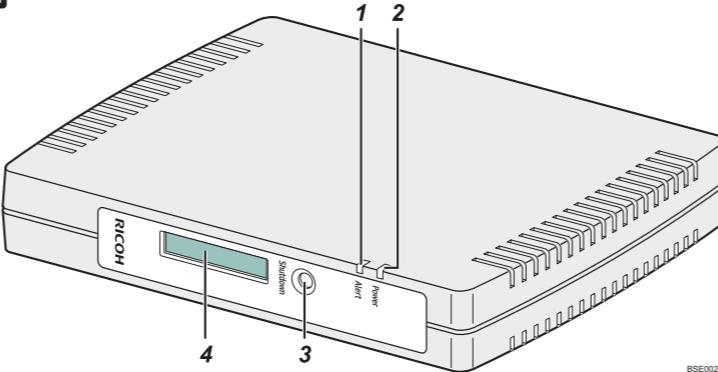
3. デバイス

管理対象となるデバイスの種類は、デジタル複合機、プリンターです。本機には最大 100 台のデバイスを登録できます。

オプションでメモリーおよびストレージを拡張すると、1,000 台まで登録できます。詳細は、サービス実施店にご相談ください。

各部の名称とはたらき

前面

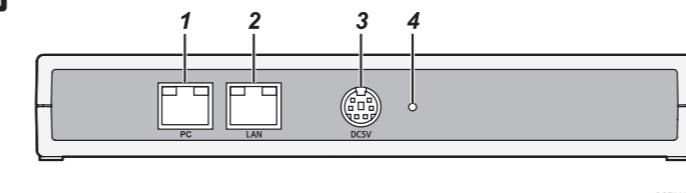


1. Alert (赤)

本機の状態によって表示パターンが異なります。

- 証明書が発行されていないときに、点灯します。
- 以下の場合、ゆっくり点滅します。
 - ユーザー設定によりサービスが休止しているとき
 - 通信エラーが発生しているとき
- 以下の場合、高速で点滅します。
 - RS センターシステムとの通信が休止しているとき
 - システムエラーが発生しているとき
 - 異常が発生し、サービスが休止しているとき
 - RS センターシステムと正常に通信しているときは、消灯します。

背面



1. PC ポート (メンテナンスポート)

カスタマーエンジニアがメンテナンスするときや、任命された管理者が本機の初期設定および登録するときに使うポートです。

2. LAN ポート

本機をご利用のネットワークに接続するためのネットワーク (Ethernet) ポートです。

工場出荷時の IP アドレスは 192.168.0.2 ですが、変更できます。

3. 電源コネクター

電源コードを接続します。

LAN ポートの LED



1. LED (接続状態)

本機がネットワークに接続しているときに点灯します (オレンジ色)。

2. LED (送受信状態)

データを送受信しているときに点灯します (緑色)。

RC Gate モニターについて

RC Gate モニターは、本機およびデバイスの登録や設定をしたり、それらの状態を閲覧したりするためのソフトウェアです。ソフトウェアは、本機に内蔵されています。

同一ネットワーク上のパソコンの Web ブラウザを使って、本機の RC Gate モニターにアクセスできます。

◆ 対象 OS

以下の推奨 Web ブラウザをサポートする OS をご使用ください。

◆ 推奨 Web ブラウザー
Microsoft Internet Explorer 6.0 以降

◆ 補足

- あらかじめ Adobe Flash Player 9.0 以降のインストールが必要です。
- 本書では、Windows XP および Internet Explorer 6.0 の画面を用いて説明しています。他の Windows をご使用の場合、画面が異なりますが、操作は同じです。

RC Gate モニターのユーザー

◆ 重要

- ユーザー名は 1 ~ 13 文字 (ASCII 文字) で設定してください。
- ユーザー名として使用できるのは、以下の英数 (スペース)、「-」、「_」の ASCII 文字だけです。((スペース) - 0 1 2 3 4 5 6 7 8 9 A B C D E F G H I J K L M N O P Q R S T U V W X Y Z _ a b c d e f g h i j k l m n o p q r s t u v w x y z)
- 上記以外の文字はユーザー名としては使用できません。
- パスワードは工場出荷時のままでご使用にならず、変更してお使いください。新しいパスワードは 8 ~ 13 文字 (ASCII 文字) で設定してください。
- パスワードとして使用できるのは、以下の ASCII 文字だけです。((スペース) ! " # \$ % & ' () * + , - . / 0 1 2 3 4 5 6 7 8 9 : ; < = > ? @ A B C D E F G H I J K L M N O P Q R S T U V W X Y Z [¥] ^ _ ` a b c d e f g h i j k l m n o p q r s t u v w x y z { | } ~)

「以下の項目が不適切です。[OK] を押して元の画面に戻り、正しく設定してください。」というエラーメッセージが表示されたときは、ユーザー名またはパスワードについて、使用可能な文字であるか、また使用文字数の範囲内であるかどうかを確認し再設定してください。

管理者は、自身と一般ユーザーのパスワードを半年以内の周期で変更してください。

辞書にあるような単語や同じ文字の繰り返しなど、容易に類推される単語はパスワードとして利用しないでください。

パスワードを書き留めて、机など人目にふれるところに貼らないでください。

◆ 管理者

本機の設置やデバイスの登録をしたり、必要に応じて本機の設定の変更や登録されたデバイスの管理情報を閲覧したりできます。

管理者でログインするときは、表示する画面を「導入設定」画面と「RC Gate 情報確認 / 設定」画面から選択します。

「導入設定」画面を選択した場合は、以下のメニューが表示されます。

- セットアップウィザード
本機を初期設定するためのウィザードを起動します。一度ウィザードを完了すると、次回からは表示されません。
- @Remote サービス登録ウィザード
本機を RS センターシステムに照会・登録するためのウィザードを起動します。

「セットアップウィザード」で登録が完了している場合に表示されますが、一度ウィザードを完了すると、次回からは表示されません。

工場出荷時のパスワードについては、『安全上のご注意』を参照してください。

◆ 一般ユーザー

本機が管理するデバイスの情報や設定値を閲覧できます。詳細は、『使用説明書』を参照してください。

裏面へ



1 設置環境、電源を確認する

△警告

- 機械は電源コンセントにできるだけ近い位置に設置し、異常に電源プラグを容易に外せるようにしてください。

△注意

- 湿気やほこりの多い場所に置かないでください。火災や感電の原因になります。
- ぐらついた台の上や傾いた所など不安定な場所に置かないでください。落ちたり、倒れたりして、けがの原因になります。

★重要

- 温度の変化により、機械内部に結露を生じることがあります。結露が生じた場合は、1時間以上放置して環境になじませてからご使用ください。
- 本機の電源は通常入れたままの状態でお使いください。
- 故障の原因になりますので、次のような場所に置かないでください。
 - 直射日光や強い光のある所
 - エアコンや加湿器などに近い所
 - その他のエレクトロニクス機器に近い所
 - 寒すぎる、暑すぎる、または湿気の多すぎる所
 - 空調機の送風、冷風、温風・ふくしゃ熱が当たる所
- オフィスの運営に責任を持つ方は、本機を適切に運用してくれる方を、本機管理者として任命してください。管理者が適切な運用を行わない場合、セキュリティ上の被害が発生する恐れがあります。

本機管理者の方は、本書および『使用説明書』、『安全上の注意』にしたがって、本機を適切に管理運用してください。本機が持ち出されたり壊されたりすることなどないように、安全な環境に本機を設置してください。

- オフィスの運営に責任を持つ方は、オフィスのネットワークを管理する管理者がいない場合はネットワーク管理者を任命してください。

ネットワーク管理者の方はオフィスのネットワークを利用する方に、データ改ざん等内部ネットワーク（パソコンを含む）に関する不正行為を行ってはならないことを、徹底してください。また、ファイアウォールまたは同等の機器でインターネットと論理的に分離されたネットワークに、本機とデバイスを接続してください。さらに、許可なくオフィスのネットワークに機器を接続されないように、ネットワークを管理してください。

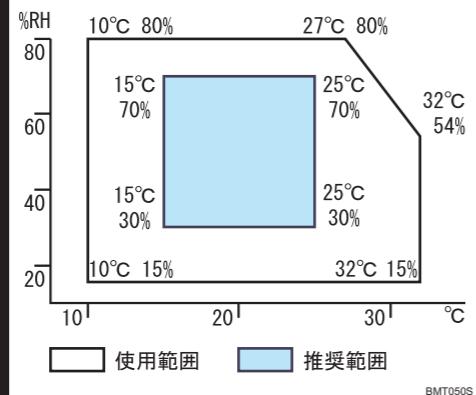
- オフィスの運営に責任を持つ方は、オフィスのデバイスを管理する管理者がいない場合は機器管理者を任命してください。

機器管理者の方は、RC Gate が管理する対象のデバイスが、改造等されていない正規製品であることを確認してください。

1 設置環境を確認します。

水平でがたつきがなく、振動のない場所を選んで設置してください。

縦置き・横置きとともに、本機の前後・左右に1cm以上の空間を確保できる場所に設置してください。温度や湿度が以下の図で示す範囲におさまる場所に設置してください。



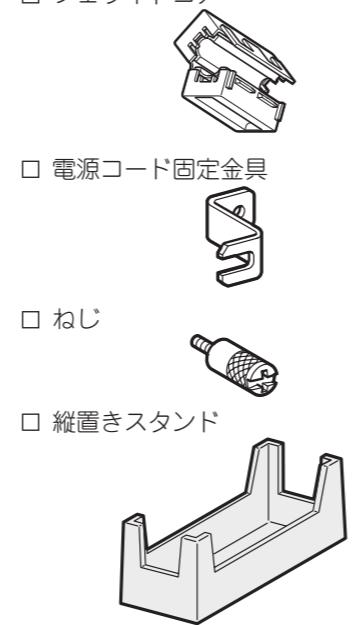
2 電源を確認します。

本機の電源は 100 V, 50/60 Hz の電源を使用してください。

2 同梱品を確認する

1 梱包箱を開けて、本体・同梱品を取り出し、すべて揃っていることを確認します。不足品や不具合があった場合は、サービス実施店にご連絡ください。

- 本体 (*)
- セットアップガイド（本書）
- AC アダプター
- 電源コード
- ネットワークケーブル
- フェライトコア

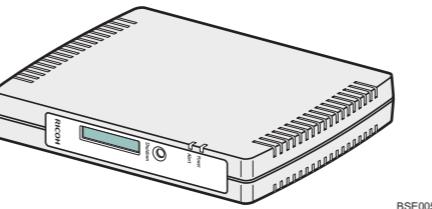


* 本製品の機種コードは最初の4桁が D459 です。本体裏面の定格銘板で機種コードを確認してください。

3 RC Gate を設置する

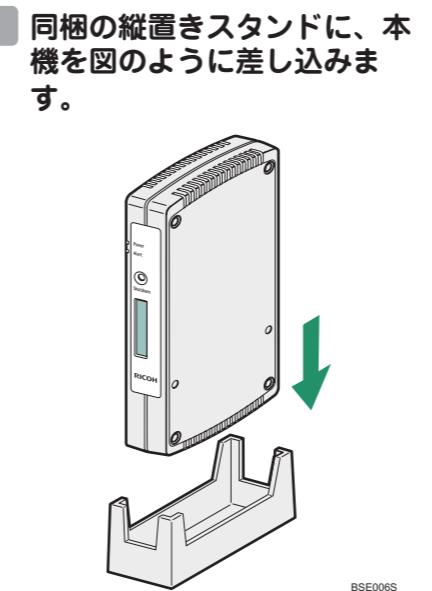
横置きにする

本機を横置きにする場合、LED が上になるように設置してください。



縦置きにする

本機を狭い場所に設置する場合は、同梱のスタンドを使って、縦置きできます。

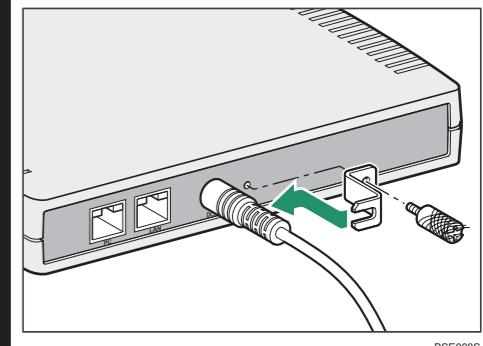


4 電源コードを接続する

△警告

- 表示された電源電圧以外の電圧で使用しないでください。また、タコ足配線をしないでください。火災や感電の原因になります。
- 延長コードの使用は避けてください。
- 電源コードを傷つけたり、破損したり、束ねたり、加工しないでください。また、重い物を載せたり、引っぱったり、無理に曲げたりすると電源コードをいため、火災や感電の原因になります。
- 電源プラグの刃に金属が触れると火災や感電の原因になります。

3 固定用金具で電源コードをはさみ、ねじで固定します。



4 電源プラグをコンセントに差し込みます。

△補足

- ねじをしめる際は、硬貨をお使いください。
- 本機が正常に起動すると、緑色のランプが点灯します。
- 電源を切断するときは、まず本機をシャットダウンし、その後、電源コードを抜きます。

△警告

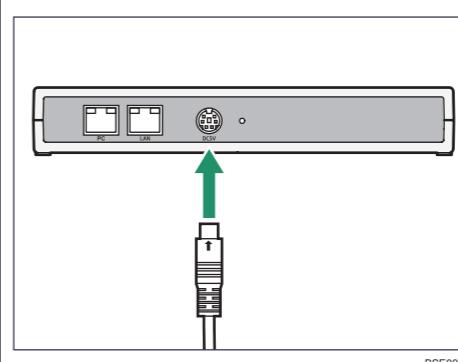
- 濡れた手で電源プラグを抜き差ししないでください。感電の原因になります。

△注意

- 電源プラグを抜くときは、必ず電源プラグを持って抜いてください。電源コードを引っぱらないでください。コードが傷つき、火災や感電の原因になります。
- 電源プラグは年に1回以上コンセントから抜いて、プラグの刃と刃の周辺部分を清掃してください。ほこりがたまると、火災の原因になります。

1 電源コードと AC アダプターを接続します。

2 AC アダプターの電源端子を、図のように本機の電源コネクターに差し込みます。

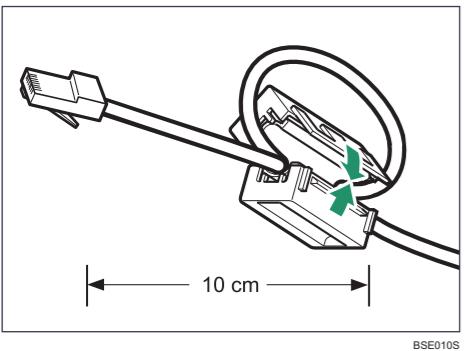


2枚目へ

5 ネットワークケーブルを接続する

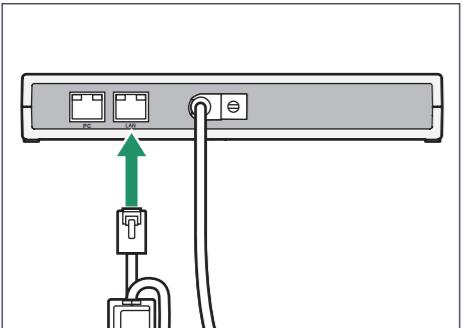
本機とネットワークは、同梱のネットワークケーブルで接続してください。同梱品をご利用にならない場合は、10BASE-Tまたは100BASE-TXネットワークケーブルを使って接続します。なお、100BASE-TXネットワークケーブルでネットワークに接続する場合は、カテゴリー5の製品を使用してください。

1 同梱のフェライトコアを、図のようにネットワークケーブルに取り付けます。



BSE0105

2 コネクターを、本機の LAN ポートに接続します。



BSE0115

3 ケーブルのもう一方のコネクターを、ハブ (Hub) などのネットワーク機器に接続します。

6 RC Gate の初期設定を行う

RC Gate の初期設定を行います。本機のIPアドレス(LANポート)は、変更が不要な場合もあります。しかし、ここでは変更が必要な場合を想定して説明をします。本機のIPアドレスの変更が必要なのは、以下の場所です。

- お使いのサブネットが192.168.0.xxx以外である。
- サブネットは192.168.0.xxxだが、192.168.0.2がすでに使われており、本機に割り当てることができない。
- サブネットは192.168.0.xxxだが、IPアドレスがDHCPサーバーによって自動的に割り当てられる。

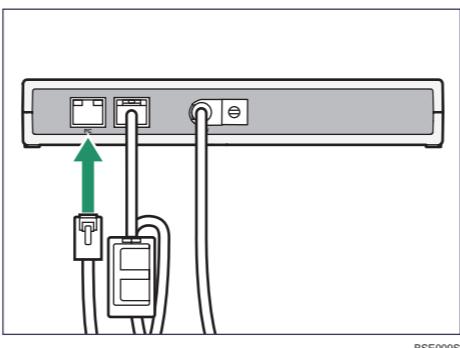
本機のIPアドレス(LANポート)を変更するときは、パソコンからPCポート(メンテナスポート)を経由して本機にアクセスします。

★重要

- お使いのOSによっては、Administratorグループの一員としてログインする必要があります。
- 工場出荷時、本機のLANポートのIPアドレスは192.168.0.2、サブネットマスクは255.255.255.0に設定されています。
- PCポートのIPアドレス192.168.10.1が利用できない環境の場合(お使いのサブネットが192.168.10.xxxで、192.168.10.1がすでに使われているなどの場合)は、サービス実施店にご相談ください。
- 工場出荷時のパスワードをそのままご使用にならないでください。また変更したパスワードを決して忘れないようにしてください。
- セキュリティの観点から、5分のあいだに3回ログインに失敗すると、本機へのログインが禁止になります。1分後に再度ログインできます。
- 以下の場合は、表示や操作に不具合が生じる可能性があります。
 - 使用するWebブラウザーのバージョンが推奨ブラウザより低い。
 - 「JavaScript」が有効になっていない。
 - 「Cookieの使用許可」が有効になっていない。
 - キャッシュを表示する設定になっている。
 - 使用するWebブラウザーの文字のサイズの設定によっては、ページレイアウトが崩れる場合があります。文字のサイズは「中」以下に設定することをお勧めします。

- お使いのWebブラウザーが、表示言語に対応していない場合は、文字化けを起こす可能性があります。
- 工場出荷時のパスワードの詳細については、「RC Gate モニターのユーザー」を参照してください。

1 ネットワークケーブルのコネクターをPCポートに接続し、もう一方のコネクターをハブ(Hub)などのネットワーク機器に接続します。

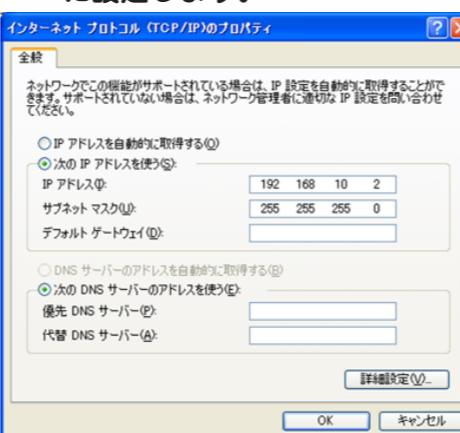


BSE0095

以下の場合は、市販のクロスネットワークケーブルで本機とパソコンを直接接続しないでください。

- ハブ(Hub)などのネットワーク機器に空きポートがない。
- 設定用のパソコンと本機のセグメントが異なる。

2 パソコンのIPアドレスを192.168.10.x(xは2~254の任意の値)、サブネットマスクを255.255.255.0に設定します。



パソコンの現在のIPアドレス等のネットワーク設定情報をメモします。

3 画面の指示に従ってください。

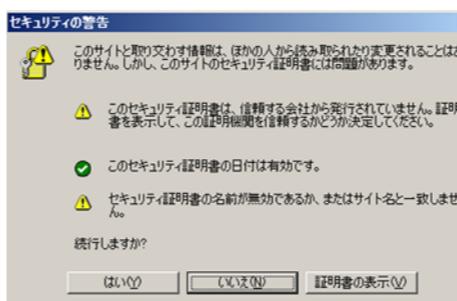
パソコンのIPアドレスが192.168.10.xになります。

4 パソコンのWebブラウザーを起動します。

5 WebブラウザーのURL欄に「https://192.168.10.1:9443/index.html」を入力します。

SSL証明書の警告画面が表示されます。

6 「はい」をクリックします。



7 フームウェアバージョンがRC Gate モニターのトップページ右上に表示されます。セキュリティ認証(CC)を取得した製品として本機をご使用のお客様は、認証を取得したファームウェアバージョンであることをご確認ください。認証を取得したファームウェアバージョンはマニュアル入手先URLにて確認できます。「表示言語(Language)」欄が「日本語」になっていることを確認し、「ユーザー種別」欄から「管理者」を選択します。「パスワード」欄に管理者用のパスワードを入力し、「ログイン」をクリックします。



工場出荷時のパスワードの詳細については、「RC Gate モニターのユーザー」を参照してください。

8 「セットアップウィザード」をクリックします。

9 「タイムゾーン」に「(GMT+09:00) Osaka,Sapporo,Tokyo」と表示されていることを確認してください。続いて、日付と時刻が正しく設定されていることを確認し、「次へ」をクリックします。

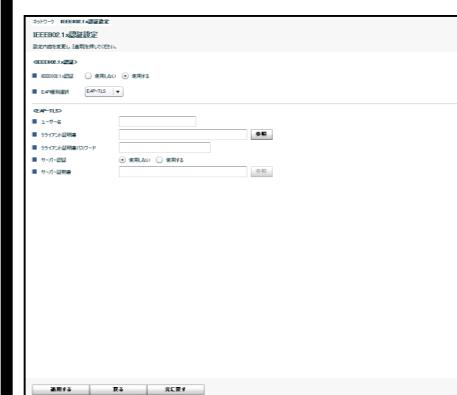


10 「<LAN用ポート>」グループ内および「<DNSサーバー>」グループ内の各項目を入力します。

DHCPを使用する場合は「有効」を選択します。プロキシサーバーまたはSMTPサーバーを名前で指定する(名前解決を行う)場合、「<DNSサーバー>」グループの入力が必要です。「プライマリDNSサーバー」と「セカンダリDNSサーバー」にx.x.x.x形式で適切な数値を入力してください(“x”は0~255の範囲内の整数)。「<メンテナス用ポート>」グループ内の各項目は変更しないでください。

11 IEEE802.1x認証を使用する場合は、「IEEE802.1x認証」をクリックします。

「IEEE802.1x認証」を「使用する」にし、必要な項目を設定します。



12 [OK]をクリックします。DHCPを使用した場合は、DHCPサーバーよりIPアドレスが割り与えられます。

13 画面に表示されるURLをクリックしてWebブラウザーを開きなおし、再度ログインします。

DHCPを使用した場合は、画面に表示されるURLをアドレスバーに入力します。

14 「IPアドレス送信許可設定変更」画面まで進みます。

15 RSセンターシステムへの本機(LANポート)およびデバイスのIPアドレス送信を許可しない場合は、「IPアドレス送信許可設定」を「許可しない」に設定し、「次へ」をクリックします。

「許可しない」に設定した場合、本機とデバイスの情報を移行できません。故障などで本機を交換する場合は、再度登録が必要です。本設定の変更は、本機の登録のみ可能です。本機を登録したあとは変更できません。

16 管理者宛てにデバイス情報を送信させたい場合は、メール情報を設定し、「次へ」をクリックします。

送信されるメールの種類については、「管理者に送信されるメールの種類」を参照してください。

17 「ウィザード終了」をクリックします。

18 Webブラウザーを閉じます。

裏面へ



管理者に送信されるメールの種類

メールの設定は任意です。メール情報を設定すると、管理者に以下のメールが送信されます。

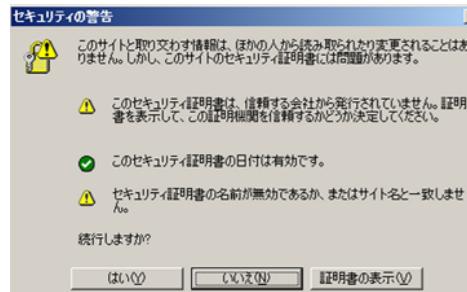
- 休止状態移行メール
本機とRS センターシステムが長期間通信できていない場合に送信されます。
- 休止状態復帰メール
本機とRS センターシステムが長期間通信できていない状態から通信が回復したときに送信されます。

7 RC Gate を RS センターシステムに登録する

1 Web ブラウザーを起動します。

2 Web ブラウザーの URL 欄に「<https://192.168.1.10:9443/index.html>」を入力します。
SSL 証明書の警告画面が表示されます。

3 [はい] をクリックします。



4 「表示言語 (Language)」欄が「日本語」になっていることを確認し、「ユーザー種別」欄から「管理者」を選択します。「パスワード」欄に管理者用のパスワードを入力し、「ログイン」をクリックします。



5 「例外」の「次で始まるアドレスにはプロキシを使用しない」に、本機の LAN ポートの IP アドレスを入力します。



6 [OK] を3回クリックします。

詳細情報については、『使用説明書』を参照してください。

5 [@Remote サービス登録 ウィザード] をクリックします。ウィザードに従って本機を RS センターシステムに照会・登録します。

6 ネットワークケーブルを PC ポートから外し、パソコンのネットワーク設定を元に戻します。

プロキシを設定する (Internet Explorer 6.0 の場合)

RC Gate モニターにアクセスできない場合は、プロキシを設定してください。

1 Web ブラウザーの「ツール」メニューから「インターネットオプション」を選択します。

2 [接続] タブをクリックします。

3 [LAN の設定] をクリックします。

4 「プロキシサーバー」の「LAN にプロキシサーバーを使用する (これらの設定はダイヤルアップまたは VPN 接続には適用されません)」を選択し、[詳細設定] をクリックします。

お問い合わせ先

製品についてのお問い合わせは、サービス実施店にご連絡ください。

転居の際は、サービス実施店または販売店にご連絡ください。

株式会社リコー

東京都中央区銀座 8-13-1 リコービル ☎ 104-8222

<http://www.ricoh.co.jp/>

© 2009, 2010 Ricoh Co., Ltd.

2010年10月 JA (JP) D459-8504A